



言葉が生まれる、絵がうたう

絵本×浪曲



絵本作家 飯野和好



浪曲師 玉川太福



曲師 玉川みね子

出演

入場無料

飯野 玉川 玉川
和好 太福 みね子

日時 2025年11月30日（日）開場 11:00
場所 大山文化センター 開演 11:30

【主催】エホント 【お問合せ】エホント事務局 080-3900-1402（石松）



本事業は、日田市まちづくり活動推進事業の補助金を活用し、日田市教育委員会学校教育課との協働により実施しています。

『絵本×浪曲』—言葉が生まれる、絵がうたう—

痛快時代劇絵本シリーズ『ねぎぼうずのあさたろう』の作者・飯野和好と新しい浪曲の風を起こす玉川太福が紡ぐ、声と絵の共演。



出演

飯野和好（いいのかずよし）



1947年、埼玉県秩父郡長瀨町の山間にあった荒川沿いの三軒の集落生まれ、少年時代を過ごす。セツ・モードセミナーでイラストレーションを学ぶ。「小さなスズナ姫」シリーズにより赤い鳥さし絵賞、「ねぎぼうずのあさたろう その1」により小学館児童出版文化賞、「みずくみに」により日本絵本賞、本書の姉妹篇である「ぼくとお山と羊のセーター」により産経児童出版文化賞タイヘイ賞を受賞。作品に「くろずみ小太郎旅日記」シリーズ、「わんぱくえほん」「ハのハの小天狗」「桃子」「ふようどのふよこちゃん」「おならうた」「おせんのおこま」「おれたちゃブルースマン」などの絵本や、自叙伝「人生はチャンバラ劇」がある。股旅姿の読み語り公演で全国を歩いている。

講演後サイン会があります！

出演

浪曲師:玉川太福(たまがわ・だいふく)

1979 年生まれ。新潟県新潟市出身。

所属:一般社団法人日本浪曲協会、公益社団法人落語芸術協会

2007 年 3 月、二代目玉川福太郎に入門し、同年 11 月浅草木馬亭にて初舞台。2013 年 10 月、木馬亭にて名披露目興行。

全国各地のホール・劇場をはじめ、浪曲定席木馬亭のほか、落語の定席にも出演し、年間の口演数はおおよそ 500 席。持ちネタは 130 席以上、「天保水滸伝」「清水次郎長伝」など古典演目を継承する一方、新作浪曲にも積極的に取り組み、自作の「地べたの二人」シリーズの他、映画「男はつらいよ」浪曲化など、幅広く活動を展開している。

2015 年「第 1 回渋谷らくご創作大賞」 2017 年「第 72 回文化庁芸術祭・大衆芸能部門新人賞」 2020 年「第 37 回浅草芸能大賞・新人賞」、2022 年「令和 3 年度花形演芸大賞・銀賞」、2023 年「彩の国落語大賞・特別賞」受賞。2016 年より「にいがた観光特使」



出演

曲師：玉川みね子(たまがわ・みねこ)



1953年生まれ。山形県酒田市（旧平田町）出身

所属：一般社団法人日本浪曲協会

1975年、二代目玉川福太郎との結婚を機に、翌年に曲師・山本太一に師事。以降、夫・玉川福太郎（酒田市出身）の相三味線を長年にわたってつとめ、テレビ・ラジオ等のメディア出演も多数。



未成年は、入場無料。

大人の方はこの活動へのドネーション（ご寄付）のご協力をお願いいたします。